

ちばレジ袋削減エコスタイル

あなたは買い物の時、レジ袋をどうしていますか？

県民一人当たり年間 300 枚も使われる計算になるレジ袋、それがゴミとして焼却されると、発生する CO₂・焼却費用……。今年はあなたも、買い物にはマイバックを持って環境にやさしい**エコ生活**をしましょう！

レジ袋の歴史…

1970年代から、スーパーやコンビニで紙袋に代わり使われ始めました。商品が入れやすく、持ち手もあり下げられ便利。商店にとっては、ロゴ入りで人目につき宣伝効果があると利用が拡大しました。

＝簡単にできる、こんなこと＝

- ✪マイバックをいつも持ち歩く
- ✪もらったレジ袋は、くり返し使う
- ✪レジ袋を断るとポイントがたまり値引きしてもらえる制度の利用

◎あなたも今年は、
レジ袋辞退運動に参加しよう！

◎千葉県で1年間に使うレジ袋は、およそ17億1千万枚

- すべてゴミとして焼却されると
→5万3000トンの CO₂が発生します。
- レジ袋の焼却処理費用を年計算すると
→年間5億9000万円かかります。

千葉県では「千葉県レジ袋削減検討会議」(消費者・事業者・行政)で、話し合い「**ちばレジエコ**」を進めています。

ちば県民だより1月号(H.21)参考

栄町では…

※買い物をするとき、買い物袋を持参することを進めています。

レジ袋 1 枚の重さは約 6 グラム。毎日の買い物を考えると、1年で町民1人あたり約 2kgのゴミの減量につながります。
(栄町環境課)

マイバックを
持ちましよう



新コーナー



塚田湧長

「検診合間の待ち時間を如何に！」と持ち前の好奇心が頭をもたげ、駐輪場横の窓一面に貼ってある「住民活動：」で「何ダア」と廊下の奥にそろそろと足を運んだわけです。掲示板の左片隅の小さな紙に「HP入力の手助け：」とあり、期待をこめたとはとても思えないような「掲示」に変な気を注いだのが「私の地域デビューのきっかけでした」その後は、休日を返上してのセンター通いが始まったという次第です。デビューして何が変わった？と問われれば、道交う人から『〇〇さん家のご主人』の二人称から『〇〇さん』と一人称で呼ばれ、住民権を自覚できたことでしょうか…！！

地域で市民活動をしている人たちの「はじめの一步」を紹介するコーナーです。どうして活動を始めたの？どんなきっかけで？みなさん、始めた動機は様々なようです。今回は、NPO法人まちづくりサポートひと・まち倶楽部の塚田さんです。

私これではじめました！

【NO. 1】